



# 会報

## WEEKLY REPORT

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-22 R.I.会長

シェカール・メータ

第2500地区第6分区帯広北ロータリークラブ

会長/深井 弘美

副会長/山本 淳

幹事/川端 正幸

[四つのテスト] 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

# 第3023回 例会報告

2021.11.19

●例会日/金曜日 <12:30~13:30>  
●例会場/ホテル日航ノースランド帯広  
●事務局/帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4F  
TEL 0155-25-7347

- 点 鐘 深井 弘美 会長
- 開会宣言
- ロータリーソング
- 会長挨拶 深井 弘美 会長



皆さんこんにちは。

先週は病院に定期通院のため例会を休ませて頂きました。千葉にある旧放射線医学総合研究所病院と言う病院で現在はQ S T病院と名前が変わりましたが、たまたま関口直前会長と同日になり二人で行って来ました。治療より3年6カ月経ちましたが、おかげさまでP S Aの数値も高くならず今の所順調で安心しております。

そこで本日は、ロータリーの話ではありませんが、私が受けました治療について少し話をさせて頂こうかと思っております。

医療関係の方がいらっしゃるの、私より話すのも抵抗がありますが少しでも参考になればと思います。

私が受けたのが重粒子（炭素イオン）線による治療になります。X線は目的のがんを通り過ぎて、反対側まで通り抜けていきます。機械自体を回してどの方向からでも照射できますので、いろいろな方向から放射線を当てて、標的以外に当たる放射線を減らす工夫をしているそうです。しかし、少量の放射線が腫瘍の周りの広い範囲に当たることは避けられません。

重粒子線は重粒子を光の速度の70%に加速し照射します、止まるときに一番多くエネルギーを落とすので、がんの深さでビームが止まるようにすれば、がん集中ピンポイントで照射が行えます。がん腫瘍より浅いところや深いところに正常臓器があっても、避けることができます。いろいろな方向からビームを入れなくても良いので、少量の放射線が当たる正常臓器の範囲がX線に比べて少ないのも重粒子線の特徴です。重粒子線は従来の放射線治療と同様に照射中の痛みはありません。身体への負担が少ない治療ですので通院治療が可能です。従来の放射線治療の約半分の期間で完了します。がん腫瘍の大きさや深さに合わせた調整ができるため、正常組織を避けてピンポイントに集中照射し、がんに対してダメージを与えることができます。従来の放射線治療に比べ、副作用が少なく今まで治療が難しいがんにも高い治療効果が期待できます。1回の治療時間は10分から20分程度、治療期間は数日から5週間程度です。実際に私が入院していたのは3週間で火曜日から金曜日の週4回で合計12回の照射で治療は終了しました、土曜日から月曜日は照射を行わないので、体は元気でも暇な時間が多いので帯広に毎週帰ってきていました。聞いた所によると治療期間中にゴルフをプレーする方もいるようです。

施設としては日本に7カ所しかありません。日本国内の他の重粒子線治療施設5年間の全生存率は、低リスク群で100%、中リスク群で99%、高リスク群で96%です。最も危険度の高い高リスク群において、前立腺がんによる死亡率は5年間で1.5%、10年間で5%です。

また、治療費は一部の治療については健康保険の適応になっていますが、それ以外は先進医療となり約300万がかかかりますが体の負担の少ない治療だと思っております。

もし、がんにかかれた方が周りにいらっしゃいましたら、治療方法の選択肢の一つとしてお伝えして頂いてもいいのかと思います。興味のある方がいましたらわかる範囲でお教えしますのでお声がけください。

### ■職場紹介

林学会員  
ハヤシフォーム印刷有限会社  
当社は昭和38年8月先代、私の父が創業しました。本年8月で創業58年になりました。会社名も昭文社林印刷から林印刷有限会社そして現在の社名ハヤシフォーム印刷有限会社になりました。創業当時は活版印刷でしたが、昭和50年に活字を全廃してオフセット印刷に切り替えました。印刷物全般を取り扱っていますが、主力は伝票印刷ですが、その中でも社名にも入っていますが、フォーム印刷です。フォーム印刷はコンピュータ専用帳票です。両サイドに穴の開いた帳票です。色々な分野で使用されており、後処理が自動化できるため税金の納付書ですとか請求書関係や納品書などに使用されております。税金の納付書は印字したのち機械でブックリング処理を行い一冊にします。その為長尺72号とか80号というものもあります。納付書はOCR印刷という分類です。この納付書は皆様方が目にするものでは、固定資産税納付書・国民年金納付書などがあります。OCRとは自動読み取り装置で内容を読み取り処理します。ですから印刷の精度も必要になりますしインクもOCRインクで紙もOCR用紙となります。最近ではオンデマンド印刷も行っております。この印刷方式は必要な時に必要な部数というようにプリンターで出力するものと思っております。ですから版が必要なく低コストで提供することが出来ます。色々な印刷を行っておりますので、ご用命の程宜しく願いいたします。

### ■ニコニコボックス発表

火ノ川好信 会員 神田 京介 会員  
関口 亘 会員 深井 弘美 会長

### ■プログラム

火ノ川好信 十勝ロータリー奨学会委員長  
今日は十勝ロータリー奨学会について皆様と話をしていとおもいます。何もわからないことばかりなので皆さんに聞き荒木会員に数字を見て頂き間違いないかどうか確認してもらいました。また理事である石岡会員にも相談しました。今日は自分の思っていることを喋ってみたいと思っています、時間が無いから早口で喋ります十勝ロータリー奨学会沿革（スライド映像）1979年の20周年の時に委員会を設立し2013年今の形の公益財団法人十勝ロータリー奨学会が出来上がりました。

この奨学会を勉強するに当たって役に立った創立20周年の記念史が事務局にありましてそれを見させて頂きました。何が一番多くのページを取っていたか、川上清孝先輩と長谷川晃三先輩の対談ですが、二方とも青年会議所で大変お世話になった方で興味深く見させていただいたと同時にJCの先輩はこんなことに取り組んでいたと感づいています、さらにもう少し詰めますと第1回目の奨学金を受けた人が現在川西農協に努められている方でした。今でも大変活躍されているかたです、何か縁があったのかなと思っ資料作りしました。今までに奨学金を106名の方に奨学金を支給しています。今一人当たり36万円一人当たりです。2年間なので72万円今は3万円ですけど昔は3円以上支給をしたことがありました単純計算しても106名ですから七千万以上、八千万以下のお金はどなたかの子供達に使った、支給されています大変素晴らしい会だと知りました。今日ここで話をするにあたって専務理事の荒木会員に話をさせて頂きたいとおもっていました。何を



喋ろうかと思った時に昨年の石岡委員長は活動報告書の中で問題点ということで 5点あげられています、そのことについて荒木会員に是非話をさせて頂きたいとお願ひしたのですが、火ノ川君自分で勉強したらどうだいと言われましてので、勉強した言お話をさせて頂きまず荒木会員が昨年指摘されていた問題点としていた問題点5の内今日は4つ持って来ました。十勝ロータリー奨学会は財団法人ある必要あるのだろうか？ これは公益金公益財団法人である必要あるのかどうかと評議委員、幹事、理事人数こんなに必要なのか皆さんから寄付五千元もらっているけどそれが必要なのか、妥当なのかと云うこと、そもそも十勝ロータリー奨学会って必要なのか、この様な論点から話をします。まず公益財団法人である必要あるのか皆さんご存知の通り公益制度改革が2008年に行われました僕もよく覚えていて、何故かと言うと社団法人帯広青年会議所って言うところは私は所属してまして、それが一般社団法人になるか公益社団法人になるかこれを皆で決断をしなければならなかった 帯広青年会議所も 公益社団法人に是非なりたいた手を挙げて総会決議をしました。公益社団法人を目指しましょう、とろが公益と付くものをやり続けることは大変なことで、その大変なことを十勝ロータリー奨学会が受け入れてそこに移行できたことは大変素晴らしいこと 公益財団法人、どんなメリットがあるかって言うところと 公益性がある内閣府、行政庁から認められなければならない大変な信用を皆さんから受けやすい 信用を受けるって事は寄付も集まりやすいメリットがあります。また税制面でかなり優遇されているこれがメリットですデメリットを言いますがこんな大変なことがあります公的事業を半分以上やり続けなければならない十勝ロータリー奨学会の目的って何かって言うところ、子供達にお金を支給していることが公的的事业です、その他の総務費なり管理費は事業費にならないので 要するに子供友達に配るお金が半分以上やり続けなければならないことが大変です、また 会計処理がかなり複雑で大変です今松田会員にお願いして処理しています。行政庁の監督を受け続けなければならない、悪いことしてないかどうかチェックがはります、だからしっかりと会計の専門が必要となってきます。また辞めた日から、辞めるとなることは簡単には出来ない、今この財団に四何何百万とお金があります、辞めるとなる何処かに寄付しなければならぬ 何処かの財団に寄付しなければならぬ一般財団法人にうつして使うことはできない、公益財団法人は難しいということです、かなりの覚悟と規律、今言ったようにかなり厳しい制約の中でやるので覚悟が必要ですよということ、荒木専務に伺ましたこれだけのことをやることはかなり大変で誰かに負担が掛かっている負担が誰かに集中をしていると言うか それをどうやって考えて行くのかこれをやり続けることはなかなか大変でかなり素晴らしいことですが皆さん理解してほしい 負担を軽減することとして理事者評議者の人数を削減したらどうかと意見として御伺しました、更に2年に一回募集していますこれを毎年募集にしたほうが実は事務作業の継続性を考えると負担が少なくなるのではないかと、とも指摘頂きました、ぜひ評議委員の方理事のかた機会がありましたら話をさせていただきたいと思ひます。次に理事者の評議者の削減というのです。これも考えてみたいと思ひます、人数がこれだけのことでしょうかと石岡会員から預かった人数そんなにいるのか公益財団法人の 取得条件の中に理事3名以上監事1名以上評議3名以上が必要ところが十勝ロータリー奨学会定款に理事10名以上15名以内必要ですよと定款は現在10名です幹事は3人以内現在3人です評議委員は10名 以上16名以内必要です現在15名現在28名います公益財団法人運営に当たって上の3人1人3人これでもいいのに、こんな 数が 必要なのが問題それで 数を減らすことで誰かに負担が掛かっている、まだこの公益財団法人社団法人がまだまだできる可能性があるのではちょっと考えてみたいけど、各クラブ

の 評議員会1名でいいじゃないですかとそんなに3人も5人も6人もいるのか、過去の資料を見るとこの公益財団法人 十勝ロータリー奨学会をもっと北海道2500地区にどんどん広めたい思ひもありました。他のクラブが賛同してくれなく上手くいきませんでした。ならば理事、評議委員をふと深く、器大きく他のクラブの方にやっていただいてもいいと思ひますそれで人数を減らしてもいいし僕は考えたいですけど、荒木会員がこの中で一番年下です50才です、もっともっと若い世代にやっていただく、いろんな考えのもとでこれをやってもらう そういった外部の人を入れる事によりこの 運動が広がり期待できる、広がれば僕たちが、5000円ずつ集め無くてもどんどんお金が集まる 可能性がある、そんなことも考えながら理事、評議員の人数についてももう一度 こんなに何で必要だろうかってことですね考え直した方がいんではないかと提案します。

ちょっと飛んだけ3番目の 5000円ずつ必要だろうか！提案です 元々寄付金は1万円でした今は5000円年会費で寄付をしています。これにも問題があります、会費の中から強制的に5000円を取る寄付行為ちょっと、ずれがあるけどその他に特別寄付として十勝ロータリー奨学会にお金を頂いており運営しています

過去には投資信託で運用の経験もあるとされていまして。投資信託運用 はあまり良い意味で使われたことがないです 投資信託で失敗してお金がなくなった人知っています。サブプライムローン 破綻の時ですすねその前にかかなり上手く行ったこともあったようです。2008年～2009年で少し財産が減りました、2014年にもっと財産が増えていまして

山崎財団という財団法人 が解散をしたので800万円いただいております。今4800万円～ 5000万円弱を推進維持しています。今会員からの寄付を0にしたらどうなるか使命として 2044年までお金が無くても運営が出来ていけます 3万円じゃなくて5万円にもしくは5名に3万円でも支給してもいいのではないかとそう言った使い方を 2038年まだまだ今から 17年間ぐらいはまだまだ資金はあります、 寄付金を集めなければどうなるか会費が安くなるから良いこと5000円分を他の事に活用出来ていいこと組織変化の気運も高まるところがデメリットもやっぱりありますね 今でも 関心のないのは5000円を集めなくなったら十勝ロータリー奨学会に係われなくなったら全く関心なくなる、そして先ほどのように いつかはお金が底を尽きます今のままで2040年までにはお金が尽きる、これが良いか悪いか議論の必要があります、けどお金が尽きて良いのであれば、それでもいい、お金が集まらなかったら組織解体の危険が高まります。

最後の設問になります106名を今集めております、その当時の支給をしている奨学者の人数、近年では2年に1回に3人ずつ支給しています今年度2021年は 2人 しかし支給をしていない、こんなに お金がもらえるのに世の中困っているのに応募がなかったから、必要ないのか、募集時期に問題はないのか募集の方法に問題はないのか 要項に問題ないのかいろんなことが絡んでくるかもしれないけれど、そもそもこの給付金事態に魅力がないのでわんないか？ 国立大、国公立、私立大四年間でこれぐらいの学費が掛かります 奨学金でもらえる我々の十勝ロータリー奨学金は2年間で72万円これぐらいになるので今調べてみると もっと、もっとたくさんあります年間90万円以上4年間もらえるものもある、所得制限があるものもあり年間25万円くらいなので奨学金って今世の中に沢山あって 3万円です2年間これって本当に正しいのかどうか、これを4年間にしてみるとかもしくは一回を10万円120万円にするとかまだまだお金があるので可能だろうなっていうのが分かりました、奨学金の支給のやり方を考え直す必要があると思ひます。

■次週のプログラム予定

「ゲスト卓話又は会員卓話」

■閉会宣言

■点鐘 深井 弘美 会長

例会案内

〈月曜日〉 広尾RC:日高信金広尾支店 〈水曜日〉 帯広RC:ホテル日航ノースランド 〈木曜日〉 足寄RC:足寄銀河ホール21  
 帯広南RC:北海道ホテル 上土幌RC:川村福祉会館 清水RC:清水町中央公民館  
 〈火曜日〉 芽室RC:めむろ一どセミナー 音更RC:ハピオ木野 帯広西RC:北海道ホテル  
 帯広東RC:ホテル日航ノースランド

■出席報告/上野 浩二 出席委員長

会員数	計算に用いる 会員数	ホームクラブ 出席数	マークアップ	欠席	出席率